

「子どもまちづくり企画室

『元気なまちづくり応援団II』

南光台市民センター×泉区中央市民センター（まち部）

1 事業概要

本事業は、南光台市民センター担当エリア内の小・中学生が企画員となり、子どもなりの視点で南光台地区を分析し、地域の発展と活性化につながる活動を企画・実施します。

平成30年度に「南光台シアター」という名称で本事業を開始した後、毎年名称を変えながら5年間継続してきたことが、地域に貢献する若者やジュニアリーダーを育成することにつながっています。



2 令和4年度の活動

今年度は6名の中学生を企画員に迎え計6回の会議を開催した結果、地域住民同士の交流を目指して、小学生や高齢者でもできる簡単なルールで技術がいらぬスポーツ大会を実施することに決まりました。

そして12月3日（土）に南光台市民センターのホールで、「南光台FUNタイム ニュースポーツに挑戦」を開催しました。

当日は10名の小学生と12名の地域住民が参加しました。参加者は大人と子どもで3人1チームとなり、スカットボールや企画員考案のオリジナル種目など、初めて挑戦する4つのスポーツを楽しみながら得点を競いました。チームで競技をすることを通して参加者同士の交流もたくさん見られ、ねらいが達成されました。



3 成果と課題

企画員は、地域への理解を深め、子どもから高齢者、障害のある人など多様な人たちが交流することの重要性を感じたようです。また、話し合いでは、異なる意見でも尊重し、議論を交わしながら企画を練り上げました。いろいろな考え方や見方、価値を取り入れて、自分たちの新たな意見としてまとめ、本活動を通して成長しました。

今回の企画員の構成は、市民センターから最も近い南光台中学校の生徒だけでした。他の中学生や小学生も参加してもらえるように、広報を工夫していくことが課題であると考えています。



4 今後の展望

子どもの頃から地域を知り、地域について考え、地域の人たちと交流することは、地域を好きになり、地域を大切にしていこうとする地域愛を育む貴重な体験です。今後も企画員を募り、事業を継続していく必要があると考えています。



なお、8月に南光台東小学校から5年生の総合的な学習の時間の授業で連携の申し出があり、本事業の一環として実施することとなり、2月に自主企画イベントを予定しています。

今後、この活動が小学校の年間指導計画に位置付けられれば、5年生の学校の授業と市民センターの事業の融合として、継続的な参画が可能であると考えられます。